

令和2年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

令和2年10月14日

上場会社名 株式会社アメイズ 上場取引所 福
 コード番号 6076 URL https://www.az-hotels.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 穴見 賢一
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 児玉 幸子 (TEL) 097(524)3301
 四半期報告書提出予定日 令和2年10月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和2年11月期第3四半期の業績（令和元年12月1日～令和2年8月31日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年11月期第3四半期	8,185	△25.9	966	△65.1	714	△71.0	356	△78.4
元年11月期第3四半期	11,041	1.4	2,770	6.7	2,467	8.6	1,646	10.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年11月期第3四半期	23.42	—
元年11月期第3四半期	108.31	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2年11月期第3四半期	25,257	11,721	46.4
元年11月期	26,767	11,898	44.5

(参考) 自己資本 2年11月期第3四半期11,721百万円 元年11月期11,898百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
元年11月期	—	—	—	35.00	35.00
2年11月期	—	—	—	—	—
2年11月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有
 令和2年11月期の配当予想につきましては、令和2年11月期の業績予想の算出に伴い、上記の通り公表いたします。

3. 令和2年11月期の業績予想（令和元年12月1日～令和2年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	△25.9	1,100	△69.9	800	△75.4	450	△78.1	29.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有
 令和2年11月期の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき算出したため、上記の通り公表いたします。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2年11月期3Q	15,204,000株	元年11月期	15,204,000株
② 期末自己株式数	2年11月期3Q	378株	元年11月期	378株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2年11月期3Q	15,203,622株	元年11月期3Q	15,203,622株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、経済活動の回復に向けた動きはあるものの新型コロナウイルス感染症の影響による国内外の経済活動の停滞や縮小などが引き続き見られ、今後も厳しい状況が続くことが予想されます。

当業界におきましては、Go To トラベルキャンペーンの概要発表後、一時的な需要回復傾向が見られたものの、その後の東京都を中心とした感染者数の増加の影響により回復は限定的となり、未だ先行きが見通せない状況です。

当社においては、段階的な経済活動の再開に伴いビジネス利用の需要回復はあったものの、イベント集客数規制や外出自粛ムードから、観光やイベント利用での回復の動きは鈍く、大幅な集客改善には至りませんでした。なお、当第3四半期累計期間に新規出店した店舗はありませんでした。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は81億85百万円（前年同四半期比25.9%減）、営業利益は9億66百万円（前年同四半期比65.1%減）、経常利益は7億14百万円（前年同四半期比71.0%減）、四半期純利益は3億56百万円（前年同四半期比78.4%減）となりました。

当第3四半期会計期間末における店舗数は、ホテル店舗が78店舗（直営店75店舗、FC3店舗）、館外飲食店舗が4店舗であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における資産合計は、252億57百万円となり、前事業年度末に比べ15億9百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金の減少13億5百万円によるものであります。

当第3四半期会計期間末における負債合計は、135億35百万円となり、前事業年度末に比べ13億33百万円の減少となりました。これは主に、未払法人税等の減少5億41百万円によるものであります。

純資産の合計は、117億21百万円となり、前事業年度末に比べ1億76百万円の減少となりました。これは主に、利益剰余金の減少1億76百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和2年11月期の業績予想及び配当予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により合理的な算定が困難な状況であることから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき業績予想を公表することといたしました。

なお、経済活動が再び大きく制約される事態に至らず、緩やかに回復していくと仮定した上でのものであり、実際の業績などは今後の新型コロナウイルス感染症の拡大や収束時期等の様々な要因により変動する可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (令和元年11月30日)	当第3四半期会計期間 (令和2年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,795	489
売掛金	250	188
商品	5	4
原材料及び貯蔵品	66	56
その他	147	131
流動資産合計	2,265	871
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	8,692	9,740
土地	4,327	5,293
リース資産（純額）	7,197	6,926
信託不動産（純額）	2,540	—
その他（純額）	638	1,420
有形固定資産合計	23,395	23,381
無形固定資産	71	59
投資その他の資産	1,035	945
固定資産合計	24,502	24,386
資産合計	26,767	25,257

(単位：百万円)

	前事業年度 (令和元年11月30日)	当第3四半期会計期間 (令和2年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	153	93
短期借入金	—	200
1年内返済予定の長期借入金	583	583
リース債務	230	239
未払法人税等	609	68
賞与引当金	—	40
ポイント引当金	99	140
その他	1,306	897
流動負債合計	2,982	2,264
固定負債		
長期借入金	3,770	3,333
リース債務	7,854	7,672
退職給付引当金	50	49
役員退職慰労引当金	44	48
資産除去債務	140	142
その他	25	26
固定負債合計	11,886	11,271
負債合計	14,868	13,535
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,299	1,299
資本剰余金	500	500
利益剰余金	10,096	9,920
自己株式	△0	△0
株主資本合計	11,896	11,720
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2	1
評価・換算差額等合計	2	1
純資産合計	11,898	11,721
負債純資産合計	26,767	25,257

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成30年12月1日 至令和元年8月31日)	当第3四半期累計期間 (自令和元年12月1日 至令和2年8月31日)
売上高	11,041	8,185
売上原価	1,217	880
売上総利益	9,823	7,305
販売費及び一般管理費	7,053	6,338
営業利益	2,770	966
営業外収益		
受取賃貸料	75	72
助成金収入	—	35
その他	6	11
営業外収益合計	82	119
営業外費用		
支払利息	373	355
その他	11	15
営業外費用合計	384	371
経常利益	2,467	714
税引前四半期純利益	2,467	714
法人税、住民税及び事業税	794	223
法人税等調整額	26	134
法人税等合計	820	358
四半期純利益	1,646	356

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当社は、現状、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、令和2年3月以降、当社ホテルの利用客及び売上高が減少しております。

このような状況の中、経済活動の再開に伴い宿泊客数は徐々に回復していくと仮定しておりますが、感染拡大前の水準まで回復するのは令和2年11月期末以降と想定しております。

当社は、上記の仮定に基づいて、固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性等に関する会計上の見積りを行っております。

なお、第2四半期の四半期決算短信（追加情報）に記載した一定の仮定から重要な変更はありません。